

### 3 安定的な経営に向けて

人口減に伴う水需要の減少により、料金・使用料収入の減少は続く見通しとなっており、今後も経営環境の厳しさは増すものと予測されます。

また、今後は老朽化した仁井田浄水場の更新や、昭和50年代以降に整備された管路が順次、法定耐用年数を迎えるなど、これまで以上に更新需要が増大する見通しとなっています。

このような状況の中、将来にわたり、安全で安心な水道水の供給や快適で安全な生活環境の維持など、良質な上下水道サービスを提供していくためには、既存施設の適切な維持管理、老朽化施設の更新や耐震化を進めていく必要があります。

本市の上下水道事業は、地方公営企業として運営され独立採算制を原則としており、お客さまからいただいた料金や使用料により支えられています。事業運営に当たっては、お客さまの負担を最小限に抑えるため、法定耐用年数にとらわれない実耐用年数による施設更新、水需要の減少にあわせた施設規模の適正化や施設の統廃合、事務事業の見直しなど、より一層の効率化に努める必要があります。

今後は本計画に基づき、基本理念「いつでも いつまでも 秋田市の上下水道」を実現するための施策を推進するとともに、費用の抑制と財源の確保など、あらゆる企業努力を行いながら、持続可能な上下水道事業を運営します。

